

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域療育支援事業所 第2 はまゆう療育園（重心以外/児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和7年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和8年2月16日		～ 令和8年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士及び作業療法士を配置しており、より専門的な療育支援が提供出来ている	子どもが療育課題（1時間）に集中して取り組めるよう、子どもの特性（注意散漫など）を考慮して極力掲示物や装飾などを控えた環境作りに配慮している	さらなる専門性を高めるため、関連の研修（web）受講を推奨
2	母子療育と個別指導	<ul style="list-style-type: none"> ・家族がそばにいるという安心感で落ち着いて療育に励むことが出来る環境 ・家族が療育の様子を確認しながら子供の特性を理解する機会を提供 ・家庭でも出来る訓練などのアドバイス 	家族理解の目的での「きょうだい」の同席受け入れ ※家族みんなが特性に理解を持つ
3	天草市中心部にある立地条件	療育時間中であれば、子どものみの受け入れも可能 ※緊急な用事などで抜けていただいても療育実施可能	全利用者家族様に、専用のLINE登録を行っているため、必ず連絡がとれる体制としている

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育中に、（地域の）子どもとの交流（活動）機会をもつことが困難	個別療育（1時間）のため、交流に充てる時間を取ることが出来ない	注意散漫な子どもの特性があり、課題に集中して取り組むためには個別療育のほうが効果的である。但し、社会性を求める要望があれば、集団療育実施の他事業所との併用利用も可能としている
2	保護者会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ要望はない状況 ・ほかに子どもが当事業所（障がい児施設）に通っていることを知られたくない ・個別療育（1時間）のため、利用者同士の利用時間が重ならずお互いの面識がない ・仕事の都合で、親同士の日程が合わない 	今後、要望があった場合に検討したい
3			